

大好評につき  
セミナー

Web開催決定!



今日も小児メンテナンスが  
フッ素塗布だけで終わってしまっている…

小児歯科の悩みを  
解決するために  
下した決断は…?



メンテナンスの次アポをとっても  
直前でキャンセルをされる

保護者に歯磨きの仕方を教えても、  
全然話を聞いてくれない

3カ月に一回の  
メンテナンスに通ってももらっても、  
むし歯を再発させてくる  
子どもがいる…

# 小児 スクール型 メンテナンス

1時間に8名・生産性4倍を実現

何よりも…

子どもが自ら通いたくなる**医療教育機関**としての価値の提供ができるようになった話を  
3分だけ聴いてください。

主催

1時間に8名・生産性4倍の小児メンテナンス3.0セミナー

お問い合わせNo.: S124616

サステナブルな成長を促すために  
Funai Soken

株式会社船井総合研究所  
〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

お申込みはQRコードから



当社ホームページからお申込みいただけます。 船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp](http://www.funaisoken.co.jp) (右上検索窓に「お問い合わせNo.」をご入力ください)

124616 Q

子どものための **新しいメンテナンス体制** を叶える

## スクール型メンテナンス体制の取り組みを大公開

本セミナーで  
解決できる  
ポイント

- ✓ 小児矯正の件数を増やすための方法について
- ✓ 地域への小児ブランディングを強化するには
- ✓ キャンセルを増やさないための取り組みとは
- ✓ 口腔機能のトレーニングを主体的に取り組んでもらうには
- ✓ 患者満足度・時間生産性の高い院内体制の構築について



2025年

6月15日・19日

※両日とも講座内容は同じです。

各日 10:00~12:30

(ログイン開始: 開始時刻30分前~)

受講料

一般価格 税抜30,000円(税込33,000円)/一名様

会員価格 税抜24,000円(税込26,400円)/一名様

お申込み  
期日

銀行振込み……開催日6日前まで  
クレジットカード……開催日4日前まで  
※お支払い方法によって異なりますので  
ご注意ください。  
※祝日や連休により変動する場合もございます。

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

セミナー内容

第1講座



小児メンテナンスの新常識・**スクール型メンテナンスとは?**

小児歯科におけるメンテナンスの医院導入までのステップ、高い生産性を実現するスクール型メンテナンス導入のための導入ステップについて解説します。小児メンテナンス3.0(メンテナンス+口腔機能管理)を高速かつ効果的に診察することで、生産性だけではなく満足度も上げ、限られた予約枠でより多くの小児患者を診察することができます。そのような新しい小児メンテナンスについて解説いたします。

株式会社船井総合研究所 歯科支援部 リーダー 山本 喜久

第2講座



高生産性・高い継続来院率を実現した**スクール型メンテナンス**

スクール型メンテナンスを導入しチェア6台、週4.5日、月20日診療でありながら月レセプト枚数1200枚を突破。実際に取り組んでいるからこそわかるスクール型メンテナンス導入のために必要な重要な秘訣を解説いたします。

医療法人Pleasure きまた歯科 理事 木全 真理子 氏

第3講座



スクール型メンテナンスの**導入ステップ**

高い生産性を実現するスクール型メンテナンス導入のための導入ステップについて解説します。都市型と郊外型ごとのスクール型メンテナンスの具体的な方法と実際の医院の事例と合わせて解説いたします。新時代の小児メンテナンスの全貌を明らかにします。

株式会社船井総合研究所 歯科支援部 チーフコンサルタント 土戸 和希

第4講座



明日から取り組むために押さえるべき**ポイント**

明日から何をすればいいのか。参加医院ごとに、どのようなフローを進めればいいのかお話しします。

株式会社船井総合研究所 歯科支援部 マネージャー 出口 清

お申込みはこちら

PCの方はこちら

船井総研 124616 Q



※6桁の数字も含めて検索してください

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/124616>

スマートフォンの方はこちら



右のQRコードを読み取りいただき、  
Webページのフォームより  
お申込みください。



お問い合わせ

船井総研セミナー事務局  
[E-mail] [seminar271@funaisoken.co.jp](mailto:seminar271@funaisoken.co.jp) [TEL] 0120-964-000 (平日9:30~17:30) ※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

※お申込みに際してのよくある質問は [船井総研FAQ](#) と [検索](#) しご確認ください。



# きまた歯科へのインタビュー

## A1 子どもの歯医者嫌いを無くし、楽しく通ってもらうために



小児患者数も増え、小児メンテナンスの枠に限界が見えてきました。そのような状況の中で3カ月に1回のメンテナンスだけではむし歯になってしまう子どもや口腔習癖の治らない子どもを毎月治療するためにも、枠を増やす必要を感じ、悩んでいたところ、スクール型メンテナンスを始めて、毎月通える子どもを増やし、むし歯の予防、口腔習癖を治すことに取り組むことにしました。同年代の子どもと一緒に毎月通うことで、習い事として、楽しく通院してもらえようになり、継続来院率も上がり、保護者からも感謝の言葉をいただけるようになりました。

## A2 子どもが“わかって取り組む”ができるようになり進んだ



スクール型メンテナンスでは子どもにも、口腔機能トレーニング、歯磨きの仕方、磨き残し傾向のある部位、またむし歯そのものについて理解し3つの予防（むし歯・歯周病・歯並び）に取り組んでもらっています。医療機関として、医療を提供するだけではなく、教育をすること子どもがわかって取り組むようになり、更なるむし歯の予防につながり、非常に効果的な取り組みになりました。

## A3 スクール型メンテナンスで診ることを患者さん自ら選択してもらえるように



スクール型メンテナンスでは、『デンタルカレッジ』の名称で、学校のように、入塾してもらい初回にはガイダンスを行い、毎月継続して通ってもらっています。集団で診ることで、子どもは友達と一緒にトレーニングや歯磨きに取り組んでいきますのでモチベーションの維持、楽しく学び通ってもらえるようになっています。そのため人気があり、良い口コミから、スクール型メンテナンスを希望する保護者や子どもも増え、スクール型メンテナンスの予約枠も増枠することになりました。

## A4 子どもがむし歯にならないようにするには何が必要か理解している



トレーニング内容の決定や、ツールなども重要ですが、まず重要なのは「子どもがむし歯にならないようにするには、何が必要か医院として理解している、そして話し合う時間がつくられていることが重要です。子ども自身がむし歯になる原因を理解している、わかるようにするために、何が必要か、そのために、スクール型メンテナンス、スクール型の診療体制を整えています。

### Question 1

スクール型メンテナンスを始めた理由は？

### Question 2

スクール型メンテナンスに取り組むうえでの障壁は？

### Question 3

患者さんの反応は？

### Question 4

スクール型メンテナンスが上手く導入できる医院の特徴は？

予防矯正を始めて、  
小児に力を入れてきた**きまた歯科**  
小児に力を入れる中で始めた

**スクール型メンテナンス**

スクール型メンテナンスを通じた  
**院内・院外の変化**とは…？



医療法人Dessureきまた歯科は愛知県小牧市にある歯科医院で子どもから高齢者まで幅広い年齢層の患者さんが来院し、地域に根差した診療を提供しております。  
きまた歯科の大きな特徴は小児診療・予防歯科です。歯磨き教室、離乳食教室と乳児と保護者向けの教室を定期開催しております。早い段階で、むし歯予防の重要性を保護者に理解していただくことで、継続的に通ってもらう環境をつくるのはもちろん、何よりも生涯むし歯の無い生活を子どもに提供できるようにしております。また、小児メンテナンス・小児矯正と幅広く行っており、3つの予防を大切に、むし歯・歯周病・歯並びのため、子どもの年齢・口腔内の状態に合わせたメンテナンスを提供しております。成人においても同様で、むし歯・歯周病の予防に力を入れております。唾液検査、PMTCクリーニング、定期クリーニングを推奨し、地域の方のむし歯、歯周病予防のために地域密着型の予防を提供しております。  
成人の患者さんに対して、歯医者に通う重要性、むし歯、歯周病の

予防について理解していただき、継続的に通ってもらっている中で、子どもにも歯医者に定期的に通うことについて啓蒙し、理解してもらうことに注力しました。どうしても、歯科医院の怖いイメージや、何をされているかわからず退屈なところだと感じて、歯医者に行くのが嫌になってしまふ子どもも一定数いるためです。  
そのような状況の中で、教室のようなかたちで、スクール型メンテナンスを行っている取り組みを聞き、きまた歯科でも取り組むことにしました。教室の立ち上げに際して、スタッフの理解、子どもへのトレーニング指導内容や、アポイント時間、診療フロアの設定などを決めてようやくスタートしました。結果的にはスクール型メンテナンス体制の構築をして大変好評をいただき、教室の増枠も継続している状況です。  
結果として①子どもが同年代の子と歯磨きを一緒にすることで楽しみながらむし歯予防に取り組めるようになったこと、②教室にすることで、離脱も減り、継続的に通ってもらえるようになり、③口コミで教室を希望する患者さんも増えました。  
この取り組みを通じて子どもが生涯、歯医者に通いむし歯、歯周病、歯並びに悩まない未来を創っていきます。

愛知県  
小牧市

0歳から通える  
子どもの歯医者  
小児に力を入れる

**きまた歯科**



## 個人メンテナンス



10,000円~12,000円 >>> 1時間当たりの売り上げ **40,000円~56,000円**

10,000円~12,000円 >>> DH1人当たりの売り上げ **20,000円~28,000円**

2名 >>> 受け入れ人数 **8名**

70%~80% >>> 継続率 **90%~95%**

1台 >>> 稼働チェア数 **2台**

## スクール型メンテナンス



スクール型メンテナンスの実施で  
**医業収入・受け入れ患者数・継続率**  
 がこんなに変わる！

## 小児メンテナンス特化のロードマップ

**1st  
フェーズ**

### 継続的に通う小児メンテナンス体制の構築ができている

小児メンテナンス体制の構築ができおり、3ヵ月ごとに継続的に通う体制の構築ができている。

スタッフがメンテナンスに通う重要性を説明できる体制をつくる

**2nd  
フェーズ**

### 口腔機能を組み合わせたメンテ・継続来院

むし歯予防・歯肉炎の予防に加えて、口腔機能の管理ができている。口腔機能管理・トレーニング指導まででき、アポイントの管理ができている。

口腔機能管理を含めてメンテナンスのアポが**20分で完了する**

**3rd  
フェーズ**

### スクール型メンテナンス

小児メンテナンス+口腔機能管理を集合で行い、習い事の位置づけで、集団での指導ができる体制が整っている。子どもが3つの予防(むし歯・歯周病・口腔機能)について理解して取り組んでいる。

**1時間8名  
月300名の  
メンテナンス体制を  
達成**

**1**

子どもが**習い事**として通ってくれる



### 歯医者怖い、イメージの払拭

歯医者=怖いというイメージを変えて習い事として通ってもらえるようになります。なぜむし歯ができるのか、口腔機能トレーニングとは何なのかを理解して取り組むことで、継続的に通ってもらえるようになり、無理やり子どもを保護者が連れてくることも無くなり楽しく、通ってもらえるコミュニティをつくるようになります。



**2**

子どもが**お互い**に教えあう  
コミュニティの形成



1人で通ってもらうよりも、同年代の子どもと一緒に通い、学び、予防に取り組むことで、モチベーションがアップします。コミュニティもできるので、離脱もほぼ無く、前向きに取り組んでもらえます。子どもが集まるコミュニティができることで、口コミから更に子どもの患者さんが増えていきました。



**3**

診れる患者数も増え、**時間生産性**も上がる



子どもが自ら通い、学び、予防に取り組めるようになるスクール型メンテナンス体制をつくることで、生産性アップにも繋がります。チェア外でのTBI、口腔機能トレーニングを行うことで診れる子どもの数も増え、生産性が上がり、チェア・アクティビティルームをそれぞれ有効活用して、効率的な診療を行えます。



子どもの未来を明るくする医療機関から  
**医療教育機関に**  
 なるための取り組み

**3つの魅力**  
 スクール型メンテナンス

他では絶対に聞けない!

# セミナーで学べること一覧&ゲスト講師事例

## 学べること

- ✓ どのようにスクール型メンテナンスを進めると良いのか
- ✓ 初診からスクール型メンテナンススタート・小児矯正引き上げまでの流れ
- ✓ 個別メンテナンスとの違いをどのように説明するか
- ✓ むし歯の再発を防止するための一工夫
- ✓ アポイント内の来院～メンテナンス～退院までの一連のオペレーション

- ✓ スクール型メンテナンスで使用するツールの式
- ✓ 集団予防を達成するために必要な知識
- ✓ 1年間の頑張りをお伝えする「3者面談」の秘密
- ✓ 患者さんが小児矯正を選びたいくなる実際のカウンセリング内容
- ✓ 口腔機能管理から小児矯正に引き上げるタイミング



## 来院からスクール型メンテナンスを開始して小児矯正に引きあがるまでの流れ

スクール型メンテナンスを実際に患者さんに行っていくまでの具体的な診療の流れとカウンセリングのタイミングや内容をセミナーではご紹介します。



来院 → スクール型メンテナンス → 教室 → 矯正カウンセリング

最高の集患は“紹介”

## 子どもが子どもを呼ぶコミュニティの形成

### スクール型メンテナンス



学び ⊗ 競い ⊗ 楽しむ  
同年代とのコミュニティの形成

### 教室の満足度アップ

### 口コミの拡散

教室に熱心に通わせるために  
取り組むようになる

### 子どもの口コミ

学校 近所 他の習い事

### 保護者の口コミ

ママ友 職場 SNS Webサイト

新患の  
来院



## 子どもが理解して取り組むための教室づくり

### 環境づくり

子どもだけでアクティビティルームで集中して  
読める環境をつくる

### コミュニティ創出

同年代の子どもと一緒に  
学び・遊び・競い取り  
組むコミュニティをつくる

### 習慣化

毎月固定の曜日・時間に  
教室を開催し、歯医者に  
通う習慣(むし歯予防)  
をつくる

### 楽しく学べる

口腔機能トレーニング  
歯磨きの仕方を同年代  
と一緒に楽しみながら  
学ぶ

## スクール型メンテナンスの内容



## デンタルカレッジ



月1回メンテナンス  
TBI/院内PMTc

お誕生日検診  
個別メンテナンス  
口腔機能検査を実施

矯正が必要な患者さんには  
カウンセリングの実施



染め出し



歯磨き指導



メンテナンス  
PMTc



口腔機能検査



口腔機能  
トレーニング

アクティビティルーム



チェア

アクティビティルーム

## 対象患者

6歳~12歳

1時間 8名



## スタッフ数

DH 2名 DA 2名



## 期間

12歳で  
卒業

